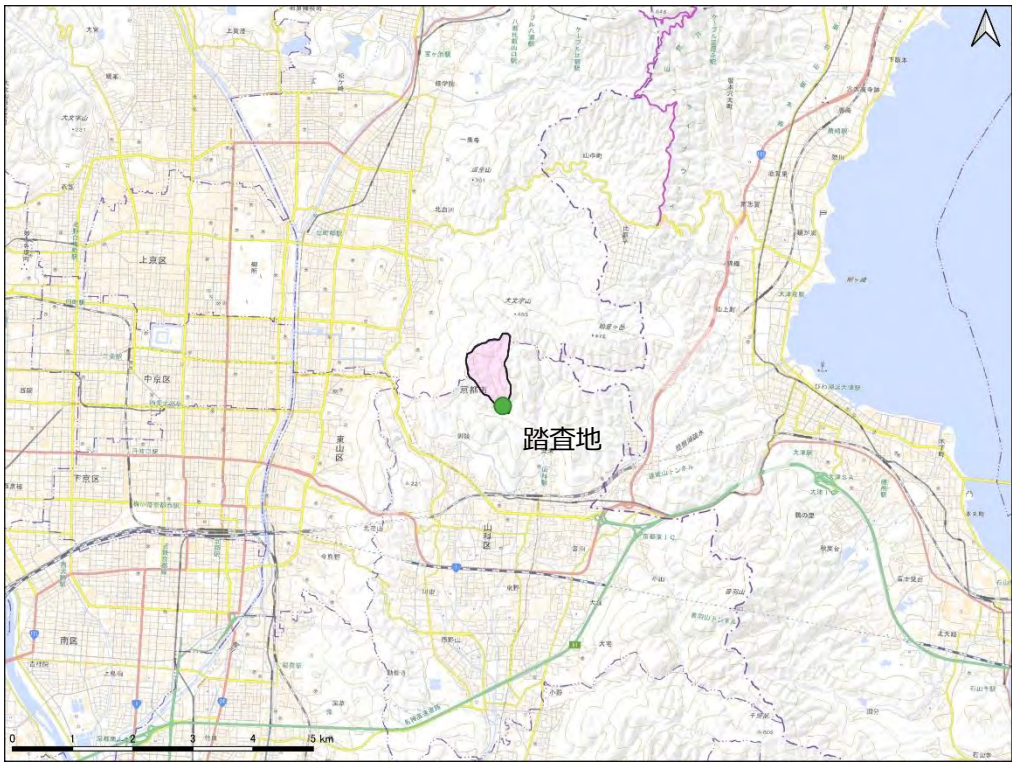


3.京都府-②.京都市山科(安祥寺国有林)

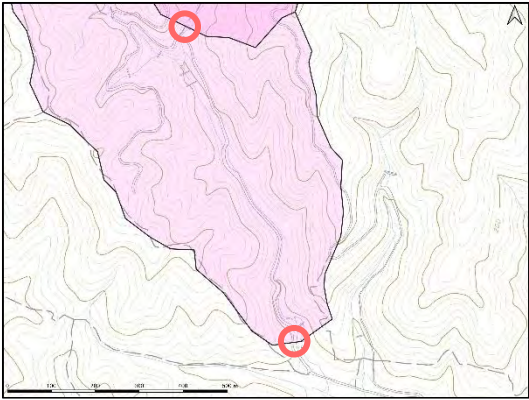
(1) 概要



施工地の位置図



集水域の鳥瞰イメージ

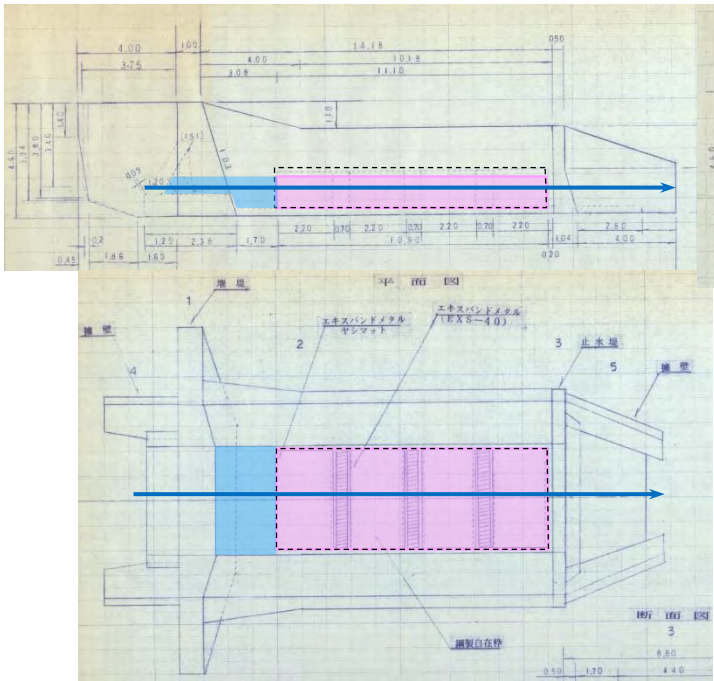


平面図

平成4年度の広域生活環境保全林整備事業において、水質保全施設と防火貯水池を確認した。いずれの施設も、生活環境保全林として整備された立地にあり、貯水池等保全タイプであるが、水質保全施設は濁水移動域における複合型施設(集水面積60.5ha)であり、防火貯水池は濁質発生域における沈砂型施設(集水面積19.5ha)に区分した。なお、当該地区の水質保全施設は舞鶴市三浜の水質保全施設のモデルであり、複合型施設のプロトタイプである。

3.京都府-②.京都市山科(安祥寺国有林)

(2) 施工当時の状況(下流施設)



構造図

- ← 流下・浸透方向
- 透過部(鋼製柵)
- 洪水時・目詰まり時湛水部



施工時の状況と浄化ユニット

平成5年に施工された水質保全施設。流水を石礫や木炭に接触・透過させることによって浄化を期待。湛水させるためにコンクリート3面張り水路を形成している。施工当時には止水堤に切欠はなく、施工後に機能発揮状況を考慮し、切欠を施工したと想定される。

3.京都府-②.京都市山科(安祥寺国有林)

(3)-1 現地踏査結果-下流施設



下流部から上流部方向。止水堤は20cm切欠き。



止水堤の複断面放水路と鋼製枠。



鋼製スクリーンダムの堆砂敷



鋼製枠の表面を渓流水が流下している。



鋼製スクリーンダムの水叩部と堆砂状況。



上流の保健休養空間

令和3年2月現在、鋼製枠の表面を渓流水が表流している。鋼製枠表面の土砂堆積状況を考慮し、現在は鋼製枠内を渓流水は透過してないと想定される。

3.京都府-②.京都市山科(安祥寺国有林)

(3)-2 現地踏査結果-上流施設



下流から上流方向



湛水部



開閉弁

平成4年に施工された施設。防火貯水池を兼ねた構造となっているが、水叩部において沈砂機能も期待できる構造となっている。